

いしきの まき

No.
63

議会だより

令和2年2月13日発行

台風第19号災害対応・議会報告会	2
第1回臨時会・緊急質問	3
第4回定例会	5
各常任委員会審査報告	8
21人が一般質問で市政を問う	10
行政視察レポート	19

市立桜坂高等学校「市役所プロジェクト(模擬議会)」



台風第19号災害対応

被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます
市議会も1日も早い復旧・復興に取り組んでおります

復興に向けて



議長
木村 忠良

先般の令和元年台風第19号で、本市でも3人の尊い命が失われ、9537件の住宅被害があり、道路決壊・のり面崩壊・がけ崩れ、汚水管破損などのインフラの被害。また、冠水による農業機械や農産物、畜産などの農業被害、さけふ化場やカキ処理場、漁港などの水産業被害、商業・観光施設の被害といった市内産業への被害も甚大となりました。

東日本大震災の復興途上の中、今回の台風により被害に遭われた皆さまには、心よりお見舞いを申し上げます。

市議会として、国・県・関係機関への要望をはじめ、今後とも議会総力を挙げて、一日も早い復旧・復興に取り組んでまいります。

被災の状況



崩落した市道小竹浜蛤浜線



冠水した横川地区（県道30号河北桃生線）

議会報告会2019 行ってみっちゃ議会を開催しました (Welcome to 議会)



総務企画委員会

意見やご要望を伺いました。皆さまからのご意見などは、今後の議会活動に活用させていただきます。

なお、詳しい内容は市議会ホームページでご覧いただけます。

令和元年11月24日(日)、議会報告会2019「行ってみっちゃ議会」を市役所6階議会議場で開催しました。今回は初めて議場コンサートを同日開催し、コンサートには80人、報告会には35人の参加があり、貴重なご



環境教育委員会

- ・ 懇談会で出された主な意見、要望
- ・ 上品の郷の運営について
- ・ 蛇田地区や中里地区のコミュニティについて
- ・ 障がい者のための福祉サービスについて
- ・ マイナンバーカードについて
- ・ キャッシュレスの施策について
- ・ 放課後児童クラブについて
- ・ 教師の働き方改革について



保健福祉委員会

- ・ 包括ケアセンターについて
- ・ 公共交通について
- ・ 市立病院について
- ・ 選挙投票率について
- ・ 排水ポンプについて
- ・ 被害地区への説明について



産業建設委員会

第1回臨時会(令和元年10月20日) 提出された議案と審議結果および緊急質問

第192号議案 令和元年度石巻市一般会計補正予算(第4号)

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	賛成
氏名	阿部浩章	佐藤雄一	高橋憲悦	阿部和芳	木村忠良	黒須光男	楯石光弘	奥山浩幸	遠藤宏昭	大森秀一	櫻田誠子	鈴木良広	青木まりえ	千葉正幸	星雅俊	
	○	○	○	○	議	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	25
議席番号	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	反対
氏名	青山久栄	阿部正敏	齋藤澄子	阿部久一	丹野清	安倍太郎	阿部欽一郎	森山行輝	渡辺拓朗	千葉眞良	山口莊一郎	高橋栄一	西條正昭	後藤兼位	水澤富士江	
	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	4

※ ○：賛成、×：反対、欠：欠席、議：議長は採決に加わりません。



起立採決の様子

議案の内容

「大川小学校事故訴訟に係る最高裁決定」に伴う損害賠償金および遅延損害金の支払いについて、宮城県がその全額を立替払いし、その後毎年度、本市から宮城県に対し、償還を行うことについて債務負担行為を設定するもの。

予算(原案可決)

令和元年度石巻市一般会計補正予算(第4号)

その他(受理)

専決処分の報告 4件

令和元年第1回臨時会が、10月20日に開催されました。

臨時会では、4人の議員から緊急質問の通告があり、議案審議に先立ち通告順に緊急質問を行いました。緊急質問の後、提案された議案について審議を行い、黒須光男議員、水澤富士江議員が損害賠償金について県の負担がないことに対し疑義があるとして、議案に反対の立場から討論を行いました。

提案された議案は、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。

緊急質問の要旨は、質問を行った議員自らが記事の編集を行い、次のページに掲載しています。

黒須 光男 議員



・大川小学校事故訴訟に係る最高裁決定について

1 県の支払い義務について

最高裁の却下の理由を見ると民事訴訟法第318条において判例があるとする県の主張は否定されており、県の支払い義務は発生するのです。

県は立て替えてくれることとなった。

2 今後予定される損害賠償金について

今まで請求しなかった遺族から訴えられた場合、私の推察では、30億円を超えるのではないかと。

今後の、損害賠償は考えていない。

3 亀山市長の責任について

知事との協議の際、なぜ市議会議長や地元県議を同席させなかったのか。韓国の法務大臣や関西電力の役員同様に市長および市教育長は辞任すべきだ。

反省しているが、辞任はしない。

森山 行輝 議員



・大川小学校事故訴訟に係る最高裁決定について

大川小学校事故訴訟に係る最高裁決定について、緊急質問をさせていただきます。

あの東日本大震災の大津波によって、大川小学校では、10人の教職員と74人の尊い子どもたちが犠牲となり、今でも私はこのことを思うたび心が揺らぎます。遺族は悲しみをこらえ、しかし未来を見据えながら当市の学校管理下の元での学校防災はどうあるべきなのかを主張していたのに、それを無視し法廷闘争になりました。結果が出たので、遺族への弔慰も必要です。また、話し合いも必要だと思いますが、考え方をお示し下さい。

ご遺族の皆さま方との面談についてですが、話し合い、弔意を表すことについてはご遺族のお考えをお聞きし、検討してまいりたい。

阿部 和芳 議員



・大川小学校訴訟について

最高裁の判定をどう捉えているか。ここまでに至った経緯、背景を鑑みると遺族の8年7カ月の長き苦しみを市長はどのように考えているのか。リーダーとしての責任、上告の是非も含め、和解などの方法もあったと思うが、市長の明確な責任について伺う。石巻市・宮城県に対し損害賠償金および遅延損害金の支払いを命じたもの。早期に支払い負担割合の協議を重ねるべきだと思うが、市長に伺う。今後の防災教育・減災教育をどのようにしていくか。国家賠償請求訴訟は3年で時効だが民事は10年、財政も鑑みどう対処するか。

責任の取り方は、復興完結以外に、ある程度、形になるものが必ずや要だ。

高橋 憲悦 議員



・大川小学校事故訴訟最高裁決定に関する市の対応と検証について

市長は、最高裁決定後、「市の責任が問われたことは、大変重く感じている」と報道機関にコメントしている。市長の判断が否定されたものであり、まずは、遺族や市民に「お詫び」の会見をすべきではなかったのか。その考えは。

検討していく必要がある。

検討していく必要がある。

検討よりも真っ先にお詫びをすることが、常識である。

遺族、多くの市民、議員の声を聴くことなく訴訟を進め、公金20億円以上を負担する結果になった。民間の関西電力等のトップは、直ちに辞任。公金を扱う市長であれば、民間より厳しい責任（辞職）を示すべきであると思うが。

選挙で市民の負託を受けているので、辞職は考えていない。

それは論点のすり替えだ。

第4回定例会

条例や補正予算など68件を 承認・可決

令和元年第4回定例会を、12月5日から20日までの16日間の日程で開催し、市長提出議案66件、委員会提出議案2件を審議した結果、すべて原案のとおり可決しました。



議案審議の様子

第4回定例会に提出された議案と審議結果

予 算 (原案可決)

- ・令和元年度石巻市一般会計補正予算(第5号)
- ・令和元年度石巻市一般会計補正予算(第6号)
- ・令和元年度石巻市下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- ・令和元年度石巻市市街地開発事業特別会計補正予算(第2号)
- ・令和元年度石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- ・令和元年度石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)
- ・令和元年度石巻市漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
- ・令和元年度石巻市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
- ・令和元年度石巻市浄化槽整備事業特別会計補正予算(第2号)
- ・令和元年度石巻市市街地開発事業特別会計補正予算(第3号)
- ・令和元年度石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
- ・令和元年度石巻市病院事業会計補正予算(第3号)

条 例 (原案可決)

- ・市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例
- ・石巻市湊地区コミュニティ広場条例
- ・石巻市下水道事業の設置等に関する条例
- ・石巻市下水道事業運営審議会条例
- ・石巻市網地島高齢者生活福祉センター条例
- ・石巻市支所設置条例の一部を改正する条例
- ・石巻市復興まちづくり情報交流館条例の一部を改正する条例

条 例 (原案可決)

- ・石巻市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 2件
- ・石巻市立学校設置条例の一部を改正する条例
- ・石巻市公民館条例の一部を改正する条例
- ・石巻市図書館条例の一部を改正する条例
- ・石巻市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
- ・石巻市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例
- ・石巻市立こども園条例の一部を改正する条例
- ・石巻市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例
- ・石巻市在宅介護支援センター条例の一部を改正する条例
- ・石巻市被災市街地復興土地区画整理事業施行に関する条例の一部を改正する条例
- ・石巻市下水道条例の一部を改正する条例

そ の 他

(承認)

- ・専決処分報告並びにその承認を求めることについて 3件

(原案可決)

- ・指定管理者の指定について 4件
- ・財産の取得について
- ・一般廃棄物最終処分場施設整備事業地)
- ・工事請負の契約締結について
- ・(仮称)大川地区地域交流センター建設工事) 他12件
- ・工事請負契約の一部を変更する契約の締結について (石巻港排水区雨水放流渠吐口築造その2工事)
- ・工事請負契約の一部変更について
- ・(仮称)蛇田支所等複合文化施設建設工事) 他6件
- ・字の区域を変更することについて
- ・市道路線の認定・廃止・変更について
- ・「フイドシエア」と称する「白タク」行為の容認に反対する意見書
- ・市長の専決処分事項の指定についての一部改正

第4回定例会で決まった中から主な事業を紹介します。

可決された条例から

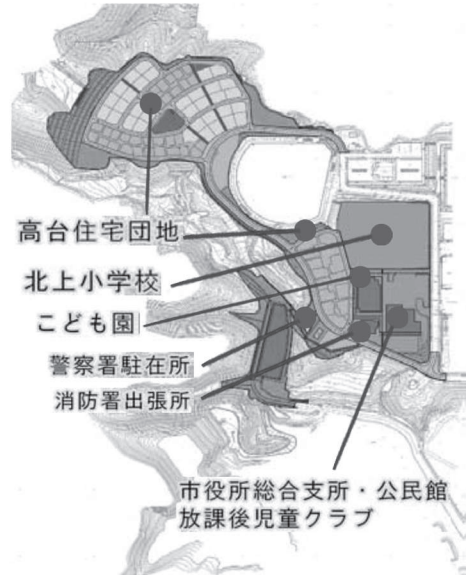
石巻市支所設置条例の一部を改正する条例、石巻市立学校設置条例の一部を改正する条例
石巻市公民館条例の一部を改正する条例、石巻市図書館条例の一部を改正する条例
石巻市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例、石巻市立こども園条例の一部を改正する条例

東日本大震災により被災した石巻市北上総合支所について、高台の北上にっこり地区拠点に公民館および図書館、北上地区放課後児童クラブとの複合施設として移転新築整備を進めており、令和2年4月13日より供用を開始することから、条例の一部を改正するもの。

また、同じく石巻市立北上小学校、石巻市立北上こども園も北上にっこり拠点地区内に移転新築整備することから、関係する条例の一部を改正するもの。

名称	新位置
石巻市北上総合支所	石巻市北上町十三浜字小田93番地4
石巻市立北上小学校	
石巻市北上公民館	
石巻市図書館北上分館	
北上地区放課後児童クラブ	
石巻市立北上こども園	

北上にっこり地区



可決された補正予算

今回の補正予算は、第25回目の「東日本大震災復興交付金」の交付に伴う基金への積立金のほか、旧大川小学校震災遺構整備、大須崎灯台周辺道路整備、上釜南部地区区画整理事業に関連する道路整備に要する経費などを措置したものとなっています。

◆総務費では

- ・東日本大震災復興交付金基金費（積立金）
- ・震災遺構（旧大川小学校）整備に要する経費

◆農林水産業費では

- ・農業用機械購入費（長面地区）
- ・小淵漁港施設機能強化工事、海岸保全施設整備工事

◆商工費では

- ・緊急経済対策保証料補給金（災害関連枠）の申込件数増加に伴う増額

◆土木費では

- ・大須崎灯台周辺道路整備事業費
- ・上釜南部地区区画整理事業関連道路整備事業費
- ・排水施設設置工事（祝田地区）

発言の訂正

12月20日本会議において市長より発言の訂正の申出がありました。

16日の阿部和芳議員および17日の奥山浩幸議員の一般質問に対する答弁において、大川小学校訴訟の結果を踏まえ、ぶら下りの会
見でなく、「ご遺族と市民に対し記者会見でお詫びをすべきではないか」という問いに、「ぶら下がりではなく私自身が何度か記者会見をした」という答弁であったが、発言中の「記者会見をした」という発言を正しくは「記者からの取材要請を受けたことから市長室
前で取材を受ける形で対応した」と訂正しました。

第4回定例会 起立採決のあった議案に対する各議員の賛否

議席番号	氏名	第196号議案 市長、副市長 及び教育長の 給与の特例に 関する条例	第247号議案 令和元年度石 巻市一般会計 補正予算 (第6号)
1	阿部 浩章	×	○
2	佐藤 雄一	×	○
3	高橋 憲悦	×	○
4	阿部 和芳	×	○
5	木村 忠良	議	議
6	黒須 光男	×	×
7	楯石 光弘	○	○
8	奥山 浩幸	×	○
9	遠藤 宏昭	×	○
10	大森 秀一	×	○
11	櫻田 誠子	×	○
12	鈴木 良広	×	○
13	青木まりえ	○	○
14	千葉 正幸	○	○
15	星 雅俊	○	○
16	青山 久栄	○	○
17	阿部 正敏	○	○
18	齋藤 澄子	○	○
19	阿部 久一	○	○
20	丹野 清	×	○
21	安倍 太郎	×	○
22	阿部欽一郎	○	○
23	森山 行輝	×	○
24	渡辺 拓朗	×	○
25	千葉 眞良	○	○
26	山口荘一郎	○	○
27	高橋 栄一	○	○
28	西條 正昭	○	○
29	後藤 兼位	○	○
30	水澤富士江	○	○
	賛 成	15	28
	反 対	14	1

※ ○：賛成、×：反対、
欠：欠席、
議：議長は採決に加わりません。



起立採決の様子

第196号議案 市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例

議案の内容

<制定理由>

大川小学校事故訴訟に係る最高裁決定に伴う損害賠償金および遅延損害金について、市民の皆さまに多大なご迷惑とご心配をおかけした責任として制定する。

<制定内容>

令和2年1月1日から同年6月30日までの6カ月間、市長の給料の50パーセント、副市長および教育長の給料の30パーセントを減額するもの。

12月20日の委員長報告後の議案採決時、第196号議案について黒須光男議員、渡辺拓朗議員、阿部和芳議員、高橋憲悦議員が議案に反対の立場から、討論を行いました。

討論内容は、市財政へ負担をかけたことに対する責任の取り方として不服があるとして反対したものです。

提案された議案は、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。

第247号議案 令和元年度石巻市一般会計補正予算(第6号)

12月20日の追加議案審議時、第247号議案について黒須光男議員が議案に反対の立場から、討論を行いました。

討論内容は、本庁舎1階の商業施設への出店に伴う施設修繕等に要する経費を即決で審議すべきでないとして反対したものです。

提案された議案は、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。

各常任委員会審査報告

12月6日の本会議で、条例や補正予算などの議案が審議され、各常任委員会に付託されました。

委員会で審査されたことの中からいくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

総務企画委員会

市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例について

Q 減額期間および割合をどのようにして決定したのか伺う。

A 市長、副市長、教育長がそれぞれ判断したものである。

Q 市長の判断をどう考えているのか伺う。

A 市長みずから判断されている部分に対して、それが足りないとか十分だとか、判断する根拠を持っていない。

Q 市長の任期終了後の市民に借金を負わせる厳しい財政状況について伺う。

A 大川小学校訴訟だけでなく、復興期間後のさまざまな施設の維持管理費の増加や今後税収が落ちていくこと。また、今まで止まっていたハード事業が動き出して地方債が増え

てきていることなど、歳入歳出の両面が厳しい状況になっている。これらの問題については1年、2年で解決できる問題ではないため、長い期間をもって、さまざまな部分で努力をし、安定的な行財政運営に努めていきたい。

反対討論（阿部浩章委員）

市長、副市長および教育長の政治的判断ミスをもって支出せざるを得ない状況になったことに、市民の理解は得られるものではないこと。また今回の責任を市長がひとりで判断して、根拠もない三役の給与減額でもって解決し、幕引きを図ろうとすること自体、理解できないこと。それ相当の責任のとり方、また減額や期間の根拠等を明確に示して再考すべきと考えることから、今回の条例に反対である。

反対討論（黒須光男委員）

市長、副市長、教育長ともに新しい人材を登用して石巻市を大改造すべきと考えることから、今回の条例に反対である。

採決

起立採決の結果、賛成少数で否決。

旧大川小学校震災遺構整備工事について

Q 整備状況について伺う。

A 現在、実施設計を行っており、年度内には一部発注したいと考えている。

Q 遺構整備を進めていく上での遺族との関わり方について伺う。

A 基本設計の段階から遺族や大川地区復興協議会と協議を重ねており、今後も展示に関する内容など遺族、復興協議会、関係者との協議を続けていきたいと考えている。

環境教育委員会

令和元年度石巻市一般会計補正予算（第5号）

Q いたずらによる河北幼稚園内の遊具破損事故における防犯対策について伺う。

A 市内の4つの幼稚園は、幼稚園の敷地をフェンスで囲い、門扉を設置している状況であるが、防犯カメラは設置されておらず、河北幼稚園については、児童の事故監視用の古いカメラのみが設置されていることから、今後は、人感センサー付きのライトの設置と防犯カメラの効果的な設置等を検討している。

Q 園児の安全安心のため、さらに犯罪の抑止力のための防犯カメラの早期設置について伺う。

A 防犯カメラは、現在機種を含めて選定を進めており、幼稚園内の複数箇所に設置を検討して早急に対処していきたい。

Q 遊楽館の雨漏り対策工事のスケジュールについて伺う。

A 今回の補正予算により、年度内に実施設計を行い、工事内容等を精査した上で、来年6月の議会に工事費の補正予算を計上し、工事に入る予定である。工事期間は、3カ月程度を見込んでおり、終了時期は、来年9月ごろである。

Q 複合文化施設の雨漏り対策について伺う。

A 基本設計および実施設計では、雨漏り対策を重視し、トップライトの位置の変更や屋根の角度を急傾斜にして雨水が短時間で排水されるよう対策を行っている。

Q 東日本大震災の発生から10年目を迎える追悼式典を複合文化施設で実施する考えについて伺う。

A 追悼式典に間に合うように現在工事を進めている。

保健福祉委員会

石巻市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について

Q 支給審査委員会の構成および報酬額の設定方法を伺う。

A 医師6人・弁護士1人・市職員1人の8人で構成され、報酬は構成員が専門的な知識を有することから市の他の委員会などより高い日額1万4千円としている。

なお、審査手続等が介護保険の認定審査会に類似することを根拠として金額を設定している。

令和元年度石巻市一般会計補正予算（第5号）

Q 国民年金や生活保護のシステム改修において、国のシステムとの連動や、マイナンバー情報との連動が必要ではないか。また、本市の個人情報管理について伺う。

A 市の事業において、国との連動が必要であるかどうかはそれぞれの事業によって違いがあり、個人情報など市が適正にデータ管理するもの、国の運用システムと連携できるものなどを整理し、効果的な活用方法を研究する。

個人情報情報はパソコンで管理していることから、市全体で適正なデータ管理

に努める。

産業建設委員会

石巻市下水道事業の設置等に関する条例について

Q 概要および浄化槽事業の対象地区について伺う。

A 下水道事業をはじめとする5つの事業を一つにまとめ、公営企業会計を適用し、決算していく。また、浄化槽事業は北上地区のみを対象とした事業であり、個人で浄化槽を管理している他の地区と同じような枠組みにするか、今後検討していく。

令和元年度石巻市一般会計補正予算（第5号）

Q 農業用機械購入費の内容について伺う。

A 圃場整備事業による大川地区の長面工区の営農再開に伴い、乗用田植え機、除草剤散布機等を購入する内容である。

Q 林業振興対策費の内容について伺う。

A 国以外の造林者が国有林に木を植え、その木の販売に係る収益を契約に基づき、国と造林者に配分する制度により、造林者に配分する負担金である。

Q 水産業従業員宿舍の対象者や入居状況について伺う。

A 漁業や水産加工業等の水産業に従事する日本人や外国人実習生を対象としており、11月末現在で定員311人に対し、185人が入居中である。

Q 漁港海岸整備事業の概要について伺う。

A 防潮堤の陸側部分を全部締め切った際に、漁港内に取り残された方が速やかに徒歩で避難できる階段避難路を確保する工事である。

Q 中小企業等融資の増額要因について伺う。

A 今年度から融資の災害枠の上限を1千万円から2千万円に拡充し、保証料の補給金についても、市の負担を50パーセントから100パーセントにしたことにより、申請件数が増えたためである。

Q 内水対策事業の工事内容や排水方法について伺う。

A 祝田地区の工事であり、地盤沈下により自然流下による排水ができないため、通常時はポンプによる排水であるが、大雨時にポンプ排水で間に合わない場合の内水対策工事として、防潮堤に自然流下の排水管を取りつける内容である。

請願審査

総務企画委員会

政府及び国会に対し「ライドシェア」に関する意見書の提出を求める請願書

Q 被災後浸透したカーシェアリングとライドシェアは別物か。

A タクシー協会では、別物と考えている。過疎地の問題について、市と地域交通委員会を各地域で開催しており、住民タクシー、デマンドタクシーという形で協力しているが、さらに過疎地でタクシーもなかなか難しい場所では、住民のシェアリングもやむなしと考えている。

議場コンサート「石巻好文館高等学校マンドリン部」

今回は石巻好文館高等学校のマンドリン部の皆さんに出演していただきました。市民の皆さんと議員もマンドリンの音色に聴き惚れていました。



一般質問

議員21人が登壇 市政を問う!

第4回定例会の一般質問は、21人の議員が市政全般にわたり市当局の見解をただしたり、政策提言を行いました。

その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、このコーナーは質問を行った議員自らが市当局の答弁に基づき、記事の編集を行っています。

議論の様子は、録画映像でもご覧になれます。

本紙面から、各議員の顔写真の下にあるQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、質問を動画で見ることができます。(視聴にかかるデータ通信料などの費用は、ご本人の負担となります。)

一般質問通告一覧 (※議員名の前に付いている番号は、質問順序です。)	
①黒須 光男 1 注視される市民の署名(4,860名)による事務監査請求について 2 新たな疑惑の職員措置請求書の提出について 3 噴出する亀山市政の負のレガシー	⑪千葉 眞良 1 当面する保育の課題について 2 今回の台風19号の水害について
②遠藤 宏昭 1 中瀬地区の公園整備について 2 蛇田地区の市有財産の利活用について	⑫阿部 正敏 1 地域防災(豪雨災害)について 2 地域自治会について
③齋藤 澄子 1 台風19号被害からの教訓について 2 子育て支援について 3 これからの湊地区再生について 4 女川原発2号機再稼働について	⑬阿部 浩章 1 将来を見据えた人事配置について 2 学校給食費の公会計化について 3 地域共生社会について 4 沿岸・半島部の復興事業について
④阿部 和芳 1 市長の政治姿勢「危機管理」について	⑭櫻田 誠子 1 災害時の避難について 2 市民サービス向上について 3 職員の健康について
⑤丹野 清 1 台風19号における被害状況と今後の対策について 2 復興事業の進捗状況について 3 今後の復興の取り組みについて	⑮渡辺 拓朗 1 教育環境について
⑥星 雅俊 1 雨水災害の今後の対策と避難行動要支援者対策等について 2 更生保護の本市の取組状況について 3 地域経済の活性化について	⑯高橋 憲悦 1 大川小学校訴訟の総括を含めた市長の政治姿勢と責任について
⑦山口 莊一郎 1 災害発生時の対応について 2 事業の見直しについて	⑰西條 正昭 1 東日本大震災からの復旧・復興完結について 2 災害に強いまちづくりについて 3 SDGs(持続可能なまちづくり)について 4 北上地区の諸課題について
⑧奥山 浩幸 1 災害に強い街づくりについて 2 石巻市総合計画実施計画について 3 大川小学校訴訟がもたらす影響について	⑱青山 久栄 1 台風19号の被害対応について
⑨鈴木 良広 1 更なる防災力強化について 2 飼い主のいない犬猫(ペット)の現状について	⑲阿部 久一 1 市政運営について 2 台風19号被害について 3 一般質問その後の進捗状況について
⑩佐藤 雄一 1 台風19号・豪雨被害の対応について 2 成年後見制度について 3 教育環境の充実について 4 河南地区の諸課題について	⑳榎石 光弘 1 気候変動・災害対策について 2 「予防医療」と本市の病院の方向性について 3 おらほのスポーツ振興について
	㉑後藤 兼位 1 復旧・復興加速の課題と行財政運営について



黒須 光男 議員



問 新蛇田地区復興住宅建設は、不正であるとして、市民の署名(4860名)により事務監査請求を提出したところ、「違法性はないが問題はある」との回答で、当局をかばい、私の顔も立てるお粥に納豆の内容でした。いったい、責任ある監査委員が作成したのか、それとも他の者だったのか。

答 監査委員ではなく職員が作成したものです。

問 噴出する亀山市長の負のレガシー(遺産)についてです。

答 オリーブ栽培で佐藤前副市長が市長室でG議員から「市長の意に反する」と恫喝されて土下座をしたことが確認されましたが、現実には前副市長が言うように今年の栽培量は予定の2割であり、今後委託を受ける民間人も見つからないのです。

問 会派は石巻復興の会であったが、土下座したかは記憶に無い。

問 大川小の最高裁判決は、門前払いで、上告は最初から無駄だったのではないかと。市長と教育長は勘違いなのか、ばかなのかとの市民の声なのです。市長はもろろんのこと、教育長は潔く辞任すべきです。

答 二度と繰り返さないように努力する。

主張 来年の大河ドラマは「麒麟がくる」で、明智光秀が主人公です。その生き方は現代人が欠落する希望のレジエント(偉人)なのです。

今の石巻の大転換には光秀が必要なのかもしれません。私は戦慄を禁じ得ません。

今こそ石巻庁舎に正義の旗を高らかに掲げようではありませんか。



遠藤 宏昭 議員



・中瀬地区の公園整備について

問 「中瀬公園」の完成予定はいつ頃か。基本コンセプト(全体を通じた考え方)はどのようなものか。

答 令和7年度、全体完成を目指す。「かわみなど石巻の原風景の再生と創造」を基本理念とする。

問 これまで本市は、「石巻マンガロード」へのモニュメント設置やJR仙石線のラッピング列車「マンガタンライナー」による宣伝など、マンガを活かしたまちづくりを推進してきた。まちなかの賑わいを創出するためにも、マンガワールドの中心・「石ノ森萬画館」を中核施設にした「萬画の国」をつくるべき。

答 提案は面白い。マンガキャラクターの著作権料など、財政面で検討が必要。

問 「多目的広場」は、官民連携活動の場。市民が集う公園整備という観点から、「ドッグラン」を設置してはどうか。

答 ドッグランの必要性は認める。常設は難しいので、イベント時に設置するなど検討したい。

問 公園全体に桜を植樹して、「日和山公園」に次ぐ第二の桜の名所にすべき。また、震災復興の象徴としてシンボルツリーを植樹すべき。

答 植栽する木の種類・本数・場所は未定。ぜひとも桜も取り入れたい。

問 JR蛇田駅のホームへ通じる「スロープ(傾斜路)」の設置を求める要望が実現しないのはなぜか。

答 一日当たりの乗降客が3000人以上でないとなし難いようだ。継続してお願いする。

・蛇田地区の要望



齋藤 澄子 議員



・台風19号からの教訓について

問 仮設ポンプ不作動により浸水被害を大きくした市の責任は大きい。避難所の運営や防災放送、防災ラジオ等活用し市民への情報提供出来るように、起こりえる災害に備え避難マニュアル等が必要。また、復興道半ばで二重の災害となる方への生活再建支援金の拡充、企業、店舗等への支援策を県国へと強く要望すべき。

答 浸水対策を行い市の責任を果たしていく。自主的な避難所運営ができる体制整備する。職員の研修等、災害対応強化、充実に努め、災害情報発信の多層化を図るよう努める。

・子育て支援について

問 子どもたちの安全を考え小中学校保護者へのメール送信を市内統一にできないものか。

答 学校と保護者の合意形成で行われている。

・これからの湊地区再生について

問 土地区画整理後の土地の申込状況は。また内海橋完成は延長含め令和4年3月予定。八幡町の交差点進路を事前に市民に周知すべき。

答 申込状況は湊北地区6件中2件、湊東地区7件中0件。今後造成工事の進捗状況に合わせ募集。八幡町交差点は車線変更の周知看板等万全の対策を県に働きかける。

・女川原発2号機再稼働について

問 原子力災害時の避難計画の実効性が不十分なまま再稼働に同意はできない。議会の採決だけでなく市長は市民の声を聞き判断すべき。

答 パブリックコメント実施中であり、その意見を踏まえ最終判断するものと認識し、議会の意見を伺い対応する。



阿部 和芳 議員



問 市長の政治姿勢「危機管理」について「石巻市震災復興計画」の基本理念の第1番目が「災害に強いまちづくり」を掲げているが台風19号の甚大な被害、全地区を回ったが、対応が疑問でならない。死者3人28カ所の避難所・設置基準、市内至る所での道路冠水や住宅の浸水、実に床上と床下併せて約一万件となり、停電や土砂崩れなど甚大な被害となった。前々から分かっていながら対応できないのは人災だという声も出ているが、日本下水道事業団への丸投げの影響ではないか。

答 市民の生命・財産を災害や事故から守り二度と起きないようにしたい。

問 危機管理「備えあれば患いなし」が無い姿勢が問題だ。「大川小学校訴訟問題」も同様だ。事前防災が指摘、和解していれば20億円以上の支払いとならなかつたはずだ。

答 学校管理下で大切な命を救えなかったことを心からお詫びする。

意見 財政面も大変厳しく、与えた影響は大きく職員を減らさないで指定管理や委託料の支出の増大、人口減と市税の落ち込みが予測される。放課後児童クラブなど会計年度任用職員制度の導入も職員適正化計画が示されず厳しい状況だ。遺族は訴訟が目的ではなく危機管理の無い対応が招いたものだ。県の負担が求償権放棄を求めざるべきだ。また、市民へのお詫びと身の処し方を明確に示すべきだ。



丹野 清員 議員



・台風19号被害からの教訓について

問 地球温暖化による、いつ来るとも限らない「災害」に対応が必要である。今回の台風での被害の原因、今後の対応は。

答 排水能力をはるかに超える降雨だったため市内各地が冠水し、設置した一部の仮設ポンプの不具合発生により一時的に排水できなかった。今後は仮設ポンプの増設と、降雨予報に応じてさらに追加設置する。

問 市道小竹浜蛤浜線は通行止め継続中だが、復旧の見通しは。

答 道路盛土部が延長45メートルにわたって流失し、応急復旧は不可能となっている。国の災害査定後、早急に工事着手する。

問 東日本大震災と、今回の台風でも被災した二重被災者への本市独自の見舞金を検討すべきでは。

答 独自の見舞金については、検討していく。

・今後の復興の取り組みについて

問 東日本大震災から8年8カ月。復興事業で引き続き対応が必要となる事業や、新たな課題は。

答 公共インフラなどのハード整備は、期間内に未完了となる一部事業は継続する。また、心のケアなどの被災者支援についても支援を継続する。復旧・復興の財源の確保に努め、完了に向けて最大限努力する。

問 残されたハード事業のほか、継続して支援が必要なソフト事業を実施するマンパワーの確保は。

答 必要な人員の把握に努め、任期付職員、派遣職員で対応する。



星 雅俊 議員



1 雨水災害の今後の対応と避難行動要支援者対策等について

問 強制排水の増強手法などを伺う。

答 仮設ポンプ6カ所9基で、完成は6月。予算は、約1億4千万円。財源は、交付金等。また、可動式パッケージポンプも検討中。

問 災害に弱いまちは、ひとが暮らせない。安全確保は、最優先課題。他の事業を止めてでも財源調整すべき。

答 最も大事な事業と認識している。

問 私見だが、台風19号は、毎時約40ミリメートル。雨水排水計画水量は、最大毎時45・6ミリメートルで完成後は、概ね対応可能。が、現能力は、毎時約20ミリメートル未満で公的ポンプだけでは、対応困難。市民の自助等が必用。土嚢や止水板の購入補助を検討すべき。

答 自主防災組織の資機材購入費補助で可能。

問 被害地区への国、県、市での3者説明会の開催が早急に必用では。

答 説明は必用。検討する。

問 高齢者らの要支援者名簿の個人情報取扱いを伺う。

答 名簿は、内閣府指針で災害時は、応援者に開示可能。

問 避難所のペット受け入れ体制やしつけを市防災計画に記述が必要。

答 今後の改訂時に検討。

2 更生保護の本市の取り組みについて

問 就労対策として、公共工事の総合評価落札方式で犯罪歴のある者を雇用する事業主に対しての優遇措置の導入を伺う。

答 令和2年4月導入を目指す。



山口 荘一郎 議員



・災害発生時の対応について

問 災害に強い情報連携システム（ORANGE）を実践で使えるよう準備すべきと幾度も言ってきたが、今回の台風では一切使わなかった。なぜか。

答 運用開始から6年が経過し、老朽化やデータ量の重さなどによる不具合のため、活用できなかった。今回の台風を受けた喫緊の課題は情報発信であり、別の手法を検討中である。

問 防災行政無線の内容が防災ラジオで流れなかったという指摘がある。スクランブル放送の扱いについて伺う。

答 スクランブル放送は非常事態に限定される。それ以外の情報については、スポンサーのついている番組に割り込みができず、若干のタイムラグが発生した。終盤はほぼタイムラグ無く流すことができたが、今後の運用についてラジオ石巻と調整を進めていく。

・事業の見直しについて

問 現行の総合基本計画における財政運営の指標が「市民の財政運営効率化に対する満足度」という抽象的なものになっている。定量的な目標とすべき。

答 他自治体でも定量目標を立てている団体があり、今後専門部会での検討を踏まえて議論していく。

問 総合基本計画実施計画では目標の下方修正が目立つ。精査を深めるべき。

答 350事業中56事業で下方修正となった。市民ニーズを把握し、優先順位を見極めていく。



奥山 浩幸 議員



・災害に強い街づくりについて

問 震災以降、地盤沈下や堤防整備で逃げ場のない水を強制的に排除しなければいけない地区が増加。また、南境の水田だった場所に、宅地造成や総合運動公園が整備され、水の逃げ場がなくなつた美園など、地区によって冠水する要因はさまざまである。冠水被害の大きかった地域の対策について伺う。

答 ポンプ場建設には、時間と費用を要する。仮設ポンプを常設させ、被害減少に努める。

問 ①南境排水ポンプ場は、計画された4基のうち2基が設置され運用している。被害を考えれば早期に設置すべきでないか。

答 ②公共施設である運動公園（ちびっこ広場）から、側溝で呑み込めなくなつた雨水が、美園の住宅地に流れ込んで来た。既存住宅地との高低差がもたらす被害である。対策について伺う。

問 ①現在11基の新設ポンプ場を整備しているの、完成後令和3年以降整備していく。

答 ②運動公園が出来たことにより窪地となった。不足分の整備を含め側溝等も対応していく。（市長答弁）

問 既存ポンプ場は自動運転されていたが、流木等が流れ込み正常な稼働ができなかった事例があった。作動状況を確認する監視体制の構築が必要ではないか。

答 必要性は認識している。今後、委託管理等も含め早急に検討していく。



ちびっこ広場から見る南境排水ポンプ場



鈴木 良広 議員



・更なる防災力強化について

問 停止した排水仮設ポンプの数、要因などの調査状況について伺う。

答 停止した仮設ポンプの数は15基あり、内訳は不動町に設置していた仮設ポンプ17基のうち9基、渡波に設置していた仮設ポンプ37基のうち6基、一時停止した要因としては、不動町は周辺が冠水し仮設ポンプに燃料を補給できず、燃料切れによる停止が5基、冠水による漏電故障が4基、渡波では周辺の停電による停止が1基、冠水による発電機の浸水による停止が1基、満潮による漏電での停止が3基、仮設ポンプの過負荷による停止が1基です。今回の調査を踏まえ、補助燃料タンクの設置、浸水防止のための電気機器の嵩上げ、停電に備えた発電機の設置を行っていきたい。

・飼い主のいない犬猫（ペット）の現状について

問 殺処分ゼロを掲げる自治体は増えているが、スローガンが先走りしていないか。不妊・去勢手術の啓発や動物の命を守るための活動を行うべきでは。

答 ペットの引き取りや殺処分を減らすには、飼育するペットの繁殖制限や、飼い主のいないペットの増加を防ぐことが重要と考えており、県と宮城県獣医師会が連携し、「飼い主のいない猫の不妊去勢事業」として、手術費用の一部を助成する事業も実施しており、関係機関と連携を図りながら、事業の周知活動に努めてまいります。



佐藤 雄一
議員



・台風19号・豪雨被害の対応について

問 河北地区において、県の河川堤防かさ上げ工事でダム状態になり、2メートル近く浸水した所がある。今後の対応を伺う。

答 大雨が予想される場合、排水ポンプの設置と国の排水ポンプ車出動の要請を行う。

提言 県に対し、工事のやり直しを求めするなど、市長の政治力を発揮して、市民を助けて欲しい。

・成年後見制度について

問 利用促進に向けて本市ではどう取り組んでいるか。

答 パンフレットを作成し、民生委員らに配布している。今後は潜在需要を掘り起こし、必要な支援に繋げられるよう、適切な利用を推進してまいりたい。

提言 中核機関を設置し、広報と相談業務から始めると良い。

・教育環境の充実について

問 スクールカウンセラー（SCC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）配置事業について伺う。

答 34人のSCCを市内全学校に配置、要望に応じて年間12回〜39回派遣し、児童生徒の心のケアの充実を図っている。SSWは、学校と関係機関の連携を図るため、6人が各校を巡回して問題行動の未然防止や早期解決に当たっている。

・河南地区の諸課題について

問 しらさぎ台の街路樹で、電線に当たるところと根が成長して歩道が痛んでいる所がある。今後の管理について伺う。

答 地域住民の意見を伺いながら、対応をしてまいりたい。



千葉 眞良
議員



・当面する保育の課題について

問 予想される災害予報と保育所の対応はどのように決めているのか伺います。

答 保育所等が作成した「避難計画」に基づき避難等を行うこととしております。

問 現在、国では災害発生時における保育所等の対応に関する課題や考え方についての整理を進めておりますので、今後国から示される考え方を踏まえ、災害予報等における保育所等の対応について見直しを行ってまいります。

問 保育施設の台風19号による被災状況と、今後の対応について伺います。

答 台風19号により大川保育所、二俣保育所および北村保育所の3施設が大きく被災しております。大川保育所および二俣保育所につきましては、保育所復旧までの間、近隣の保育所を間借りして保育を実施していましたが、大川保育所は11月27日、二俣保育所は12月2日にそれぞれ再開しております。北村保育所につきましては施設に被害がなかったことから通常の保育を実施しております。

問 児童の安全確保および崩落箇所拡大を防ぐために、応急修繕工事および仮設ガードフェンスの設置を行い、現在は本復旧工事のための測量設計業務を委任している状況であり、来春以降の復旧を予定しております。



阿部 正敏
議員



1 台風19号時の市の対応について

問 窓を閉め切ると防災無線が聞こえにくい。防災ラジオからはほとんど音楽だけ流れて災害情報が流れてこないが。

答 メールやSNS、ホームページ、災害情報テレホンサービス、防災ラジオなど、情報の多様化を図って対応している。

問 新橋地域における山下中学校への避難所は間違いではなかったのか。

答 市の内水氾濫エリアおよび土砂災害を想定した上でより安全な避難場所を選定している。

問 新橋地区は石巻工業高等学校と防災協定を結んでいるので避難場所は市と県側で話し合って定着させて欲しい。

答 今後は速やかに避難所を開設する観点から各県立高校と連携を図っていきます。

2 地域コミュニティ活動について

問 地域におけるコミュニティ活動が高齢化により停滞し始めているが。

答 地域住民が主体になって健康増進心のケア見守りなどの活動を推進するため地域サロンなどの憩いの場の設置を行っている。

問 新橋町内会では公園愛護会を設置し清掃活動を行っているが地域コミュニケーション活動として定着し始めているので町内活動費として自由に使える財源を増やしてほしい。

答 地域サロンなど憩いの場が増えてきているので積極的に支援していく。



阿部 浩章 議員



・将来を見据えた人事配置について

市長はどのような基準をもって人事異動にあたっていいのか、復興後の配置計画をどのように考えているか伺う。

人事異動については、適材適所を一番に考えている。配置計画については、より効率的・効果的な行政運営ができるよう策定していく。

職場の実態とあっていない人員配置は市民サービスの低下や職員の労働時間の超過、職員の事務ミスの発生などを招く恐れがあると考えられるので、ぜひ、異動にあつては適材適所、計画策定にあつては大所高所の視点であつてほしいと提言します。

・学校給食費の公会計化について

学校給食費等の徴収に関する公会計化等の推進について伺う。

学校給食費等の自治体直接徴収への移行に向けて、準備を開始したところであるが、教員の負担軽減が図られるよう推進していく。

先生が本来業務に専念していただけるように、学校現場の負担をいかに軽減していくか、公会計化ということで推進を促されていることから、計画的に導入するよう提言します。

・沿岸・半島部の復興事業について

国道398号雄勝復興道路の進捗状況とスケジュールについて伺う。

事業費ベースで約50パーセントとなっており、令和2年度の完了に向け事業の推進を図っていると伺っている。雄勝地区の復興のための大切な事業なので、今後とも県に対して強く要望していく。



櫻田 誠子 議員



・災害時の避難について

各人が災害時に備え、自分の行動を時系列でチェックリスト方式に書き出す「マイ・タイムライン」の周知をすべき。

来年度ハザードマップ配布時、周知したい。

防災ラジオの災害情報発信を最大限図るべき。

防災行政無線と連動させ、ラジオの難聴地域に戸別受信機を設置。メールやSNSも活用し、さまざまな方法で情報提供に努める。

障がいのある方、高齢者、妊産婦らのための福祉避難所は、指定避難所に避難後トリアージして場所を決めるが、特に重度障がいや介護度の高い方には負担が大きく、改善が必要。

福祉避難所の周知により、直接避難して混乱を招くことから、2次対応としてきたが、今後重度障がいや介護度の高い方は事前に利用施設とのケースマネージメントを行い、負担の無い安心した避難誘導を検討。福祉避難所協定先と未実施だった平時の連携と受け入れ訓練等も検討したい。

高齢者から学校体育館は床が固く冷たい、避難所まで遠く行けないなど相談がある。町内会での避難に関し相談支援体制があるとよい。

避難所の一角に要援護者専用スペースを確保し専門職による支援も検討する。自主防災組織活動は支援したい。

・市民サービス向上について

市民課窓口民間委託の効果と今後の展開は。

市民アンケート調査で高評価を得たことから実績を考慮し拡大検討する。「お悔やみ窓口」は実施自治体を参考に検討する。



渡辺 拓朗 議員



・教育環境について

プログラミング教育を実のあるものにするためにも、自然の哲理を体得する環境教育が基礎となる。このバランスをどう考えるか。

環境問題が深刻化の中で、ますます環境教育の重要性が高まっている。外部人材の活用や地域素材を活かし体験活動を通し豊かな人間育成を最も大事にしながらプログラミング教育を实のあるものにした。

子どもたちの学力が低下している。支援員の充足をすべきではないか。

現場の要望に応じた配置ができていない状況にあり必要とする配置に努めていく。

2年連続で転出者が例年の倍の580人以上と なっている。将来Uターンしていただくための「ふるさと愛」の醸成に力を注ぐべき。

中心市街地の事業所の方や市役所職員と政策に関する意見交換や石巻地域連携推進コンソーシアムの活動を通じながら一層力を入れる。

子どもたちに夢と希望を与えるまれに見るチャンスのオリパラ聖火行事と複合文化施設をどのように活用するのか。

復興状況を世界に発信できるようオリパラ協議大会組織委員会に相談する。複合文化施設の活用については開館記念行事を通じて衝撃的な感動を与える行事を企画する。



高橋 憲悦
議員



・大川小学校訴訟を含めた市長の政治姿勢と責任について

- 問** ①最高裁決定後、市民へ説明と謝罪は。
②給与減額50パーセント、6カ月は、市長にとつて、「最大、精一杯の責任の取り方」と明言したその根拠は。
③市長・政治家としての責任の認識は。
④これまで市長は天災だという考えで進めてきたが、人災であることが確定。その問題点と責任は。
⑤最高裁の決定は、市長の主張の全面敗訴。その後、何をどのように反省したのか。
⑥市長の失政で失った20億5650万円。今後の財政運営は。

答 責任は、重く受け止める。減額の根拠は、これまで職員が起因する不祥事等で引責した減額を基準として、最大限、最高のものと、考え提案した。議会でも同意されての訴訟であり、市長としての政治責任に当たらない。記者会見したので、市民への説明責任と謝罪は済んでいる。(※記者会見発言は、後で、正式な記者会見、正式な謝罪形態ではないと議会から指摘があり、それを認めて、発言の訂正を行い、議会終了後、議会が指摘したとおりの会見が行われました。)
※詳しくは、YOUTUBEか議会ホームページへ掲載予定の会議録をご覧ください。



西條 正昭
議員



問 3月20日に東京五輪の聖火の種火が「石巻南浜津波復興祈念公園」に展示されるが整備は完了するのか伺う。

答 国・県・市等全体的な完成は、令和2年度末を目指し進めている。

問 「豊かな海づくり大会」が本市を主会場として開催される。道路・施設等完結するのか、今後の準備体制についても伺う。

答 式典会場となる石巻魚市場、海上歓迎・放流行事の会場となる石巻漁港周辺は完成する。市長職員一丸となり進めていく。

問 1460億円で「日本下水道事業団」に委託の下水道事業の進捗状況を伺う。

答 11月末現在、約71パーセントの執行率となっている。

問 先の台風19号の豪雨で、想定外の大災害に見舞われた。排水、治山・治水等の対策、避難所の体制を伺う。

答 治水対策はポンプ場の早期完結。治山対策は被害を及ぼす恐れがある所から整備を進める。早めの避難所開設と安全な避難場所の選定も考えていく。

問 SDGs（持続可能なまちづくり）を強力に進めるためにも、残る30自治体の1つとして選定されるよう、市長の決意を伺う。

答 「SDGs 未来都市」は狭き門だが達成に向け準備していく。

問 北上地区の復興事業が来年度末までに全て完了するのか。また、街路灯や完成した施設等のPR・道案内の設置も伺う。

答 県・市道の交差点付近を中心に設置を要望している。案内板などは来年度の設置を予定。PR等さまざまな媒体を活用し進めていく。



青山 久栄
議員



・台風19号の被害対応について

問 仮設ポンプの燃料切れに対して、防災センターに配備されているボートによる補給はできなかったか。

答 このことを教訓として補給タンクの設置とともに考えたい。

問 国交省の排水ポンプ車出動要請が早急に行われ、即稼働していれば被害は軽減されていた。毎回のことだが、なぜ早期対応ができないのか。

答 周辺の被害状況に合わせて限られた台数を適正に配置するため、冠水が始まってからの対応になっている。

問 冠水状態地域は決まっているので、あらかじめ準備ができるように国交省との取り決めを急げ。また、思い通りにならないなら、市独自で大容量のポンプ車数台を確保し、これからの冠水被害に備えよ。

答 国交省としっかり協議したい。自前のポンプ車についてはランニングコスト等検討している。

問 河北の針岡、大川地区の冠水被害も毎度のことである。沢の上流部も含めた抜本的、総合的な対応を急げ。

答 横川地区の住居の冠水被害も度重なっており、流路を広く、高くするなど早期の河川改修を要望していく。

問 県道河北、北上線は山側の斜面、川側の路肩の崩落が著しい。災害復旧工事が終わり次第、全線にわたり全面的な改修工事に取り掛かれるよう県と協議を進めよ。

答 河川側に拡幅の方向で改良要望をしながら、災害復旧をしてもらうよう協議したい。

一般質問



阿部 久一 議員



・市政運営について、財政収支見通しについて

問 30年度経常収支比率99・9パーセントである。家庭でいうと電気料などの必要経費を支払うと、財布の中身が空っぽに近い、今後の行財政運営をどのように推進するのか。

答 将来的な税収の向上につながる各種施策を展開し、安定した行財政運営を維持してまいりたい。
問 新たな公共施設の維持管理費は30年度と比較して年間総額幾らか。
答 令和3年度で約7・1億円増加の見込み。

問 本市の安心ラインとしている標準財政規模に占める財政基金の割合と金額は幾らか。
答 5パーセント以上で本市の場合約20億円になる。

問 6年度以降枯れてしまう財政調整基金に頼らない市政運営の目標年度はいつごろか。
答 各種復興事業が完了した後と考えている。

主張 経常経費の増加で厳しい財政運営になる。

・その他の質問事項

- 一、派遣職員や任期付き職員の人件費等自主財源では賄いきれない。対策について。
- 二、災害援護資金貸付金償還金現状と見直し。
- 三、白銀神社参道工事初詣前に完了目指せ。
- 四、美園町の浸水被害、今後の対策について。
- 五、駅前北通り浸水被害の要因と対策の遅れ。
- 六、半島沿岸部の緊急用夜間ヘリポートその後の進捗状況はどの様になっているのか。
- 七、観光案内板の整備状況と計画について。
- 八、防潮堤への警報ランプ設置状況等を伺う。



榎石 光弘 議員



・気候変動・災害対策について

問 今世紀末までに海面上昇で浸水被害千倍、スーパー台風発生50倍、気候変動は、まさに人類の危機。低炭素社会への具体的取り組みと実績について伺う。

答 個人や事業者へ太陽光発電設備、蓄電池への補助、学校施設等への設置、補助は累計約4500件、3億6千万円。環境フェア、環境市民講座等で今後も積極的に環境意識の啓発に努める。

・「予防医療」と市立病院の方向性について

問 国は医療費が45兆円に迫る中、予防医療へ大転換、愛され信頼され質の高い病院への取り組みについて伺う。

答 この度、第三者評価機関で専門的審査を受け認定された。今後も患者さま第一とし、質改善に全職員で取り組む。「なるほど健康塾」など皆さまのご協力をいただきながら、地域に愛され続ける病院を目指す。

・おらほのスポーツ振興について

問 第73回県駅伝大会で石巻RCが2連覇した、いかがに考えるか。

答 切磋琢磨の結果に夢と感動をいただいた。心から健闘を称えたい。

問 県青年団初代団長、石巻稲井の阿部初夫氏の不屈の闘志から県駅伝が生まれた。市民が楽しく走り、参加できる石巻健康リレーマラソンの開催はどうか。

答 前向きに検討する。



後藤 兼位 議員



問 「震災復興基本計画」終了後の財政運営は歳入に見合った歳出を進める場合、ムダと贅沢をなくす必要がある。「歳入の確保」「歳出の削減」で、具体的に伺う。

答 歳入では人口減少を食い止めること、定住人口の維持が、税収や交付税の安定的な確保につながる。歳出では、「職員数適正化計画」に基づく人件費の見直しや「公共施設総合管理化計画」に基づく施設総量の抑制や統廃合を進め経常経費の削減を図る。

問 下水道施設災害復旧・復興事業の整備状況は。

答 復興事業は、全体事業費1470億円で新設11カ所の雨水排水ポンプ場や幹線管渠の整備を行っており、進捗率は約53パーセントだ。

問 建設中の雨水排水ポンプ場が完成までの2年間の対応は。

答 既存のポンプ場のほか、仮設ポンプの設置で対応するが、台風19号の被害を踏まえ仮設ポンプの増設検討しているほか天候状況により臨時的な仮設ポンプを追加、国交省の排水ポンプ車の要請等を行う。

問 ポンプ車やパッケージポンプを整備すべきだと考えるが、その運用方法と、運用経費は。

答 導入の有無を含め、検討中だが、業務の特殊性から業務委託を考えている。また、パッケージポンプを導入した場合複数台数の整備を検討しており市内各地に効率よく出動できるように分散配置を検討中、1台約2千万円、運用経費については年間1500万円を見込む。

主張 分散配置は、市内東西、旧町への配置が合理的だ。

第4回定例会に提出された請願

- 政府及び国会に対し「ライドシェア」に関する意見書の提出を求める請願書
(提出者) 一般社団法人宮城県タクシー協会 会長 佐々木 昌二
(紹介議員) 阿部 欽一郎、千葉 正幸、渡辺 拓朗、水澤 富士江

※この請願は、総務企画委員会で審査され、本会議で採択されたことにより、以下の意見書を提出することが、可決されました。

「ライドシェア」と称する「白タク」行為の容認に反対する意見書 (委員会提出議案第3号) 要旨

シェアリングエコノミーの成長を促すという名目のもと、インターネットを利用した「ライドシェア」と称するいわゆる「白タク」行為の容認を求める動きが出ており、これは運行管理や車両整備等について責任を負わず、自家用車の運転手のみが運送責任を負う形態となっている。

道路運送法、道路交通法、労働基準法等を遵守するタクシー事業の根幹を揺るがすものであり、国においては、地域公共交通の重要性に鑑み、国民の安全を脅かすとともに、地方創生の担い手である地域公共交通に大きな混乱をもたらす「ライドシェア」と称する「白タク」行為を容認することのないよう強く要望する。

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣、内閣府特命担当大臣(規制改革)

第4回定例会に提出された陳情

- ライドシェア反対、地域公共交通の充実を求める意見書採択の要請
(提出者) 自交総連東北地方連合会 執行委員長 本間 昭

※この陳情は、全議員へ参考回付しました。

議会の動き

11月

- 1日 大阪府守口市議会行政視察来石
- 6日 桜坂高校「市役所プロジェクト」(模擬議会)
- 7日 東京都清瀬市議会行政視察来石
- 8日 石川県志賀町議会行政視察来石
- 11日 福岡県朝倉市議会行政視察来石
- 12日 ニュー石巻行政視察(～15日)
- 18日 国道398号改良整備促進期成同盟会要望活動
県道北上津山線整備促進期成同盟会要望活動
三陸縦貫自動車道・アクセス道路の整備促進に関する要望
- 19日 公明会行政視察(～22日)
- 20日 沖縄県那覇市議会行政視察来石
長崎県議会行政視察来石
- 22日 兵庫県議会行政視察来石
- 26日 山形県舟形町議会行政視察来石



12月

- 2日 議会運営委員会
- 4日 毛利コレクション等広域歴史文化資料展示施設を推進する議員連盟役員会

12月

- 5日 第4回定例会開会(～20日まで)
- 6日 本会議(条例案、予算案など審議)
- 10日 総務企画委員会、環境教育委員会
- 11日 保健福祉委員会、産業建設委員会
- 12日 議会運営委員会
- 16日～19日 本会議(一般質問)
- 20日 本会議(一般質問、委員長報告、追加議案審議、閉会)

1月

- 14日 総合防災対策特別委員会
- 15日 日本共産党石巻市議団行政視察(～16日)
茨城県石岡市議会行政視察来石
- 21日 ニュー石巻行政視察(～23日)
埼玉県久喜市議会行政視察来石
- 22日 公明会行政視察(～24日)
- 28日 総務企画委員会行政視察(～30日)
環境教育委員会行政視察(～30日)
保健福祉委員会行政視察(～30日)
- 29日 産業建設委員会行政視察(～31日)

議会運営委員会・特別委員会行政視察レポート

議会運営委員会および各特別委員会が行った行政視察についての概要を紹介します。

議会運営委員会

【実施日】
令和元年7月2日～4日

【視察地および視察事項】

- 北海道留萌市
『議会改革について』
『議会報告会について』
- 北海道栗山町
『議会改革について』
『議会報告会について』

留萌市議会の議会基本条例制定後の議会改革について、議会基本条例に議会の機能強化を図るため継続的に議会改革を進めていくことが規定されており、分かりやすい議会（情報公開）、開かれた議会（市民参加と民意の反映）、2元代表制としての議会（政策提言・監視・評価等）の実現のため、これらを踏まえながら議会運営委員会において常に議論し、継続的な議会改革の推進に取り組んでいた。

次に、栗山町議会の議会報告会についての課題は、参加者の満足度向上であるが、栗山町議会も参加者数が減少傾向にあるものの、議会だより、ホームページはもちろんのこと、周知方法での検討を工夫されており、参加者アンケートにおける満足度は高い傾向にあった。

総合防災対策特別委員会

【実施日】
令和元年7月17日～19日

【視察地および視察事項】

- 佐賀県伊万里市
『玄海原発から30キロメートル圏内立地における市民の安全対策について』
『わがまち・わが家の防災マップについて』
- 佐賀県玄海町
『九州電力玄海原子力発電所』

伊万里市は、原子力発電所の立地市でないが、ほぼ市内全域が玄海原子力発電所のUPZ圏内に入っている。『伊万里市原子力防災のてびき』により、各行政区の避難先や、避難の方法、避難先の施設等、具体的な避難計画が市民の目線で作成されている。

また、自然災害から自分の生命を守る身近な手引きとして『わがまち・わが家の防災マップ』を、自治会が、地域の危険箇所や避難経路・場所などを表示して自分たちが分かりやすい防災マップを行政区ごとに作成されている。

玄海原子力発電所では再稼働に向け、新規制基準の施行により、より厳しい安全対策が求められていることから、何重もの安全対策を講じ、安全確保を進めている。

東日本大震災地域コミュニティ再生特別委員会

【実施日】
令和元年7月17日～19日

【視察地および視察事項】

- 岩手県釜石市
『地域コミュニティの再生について』
- 青森県弘前市
『空き家の活用について』

釜石市では、東日本大震災により整備された災害復興公営住宅の入居者間の人間関係づくりが大きな課題となったが、復興支援員による釜援隊が復興住宅の自治会設立に深く関わった。また、市役所が全庁体制で地区をサポートする生活応援センターが人的支援や活動支援等を積極的にを行い、官民一体のまちづくりに取り組んでいた。

弘前市では、空き家実態調査により空き家状況を把握し、所有者には権利関係の確認や相続の対策を早めに準備するように勧めている。当初、実態調査は危険家屋対応の取り組みであったが、空き家対策計画を策定し、対策講座、個別相談会や補助金交付等といった事業を地道に取り組んでいた。

人口減少対策特別委員会

【実施日】
令和元年7月17日～19日

【視察地および視察事項】

- 福井県永平寺町
『自動走行推進事業について』
- 長野県松本市
『地域公共交通の取り組みについて』

永平寺町では、鉄道廃線跡地を整備した遊歩道「永平寺参（まい）ろーど」で自動運転の実証実験を行い、鉄道廃線後の交通手段の確保や通院・通学など地域課題に対応できる自動走行車の活用について検証を行っている。

松本市では、歩行者・自転車・公共交通を優先した持続可能なまちづくりの実現に向け、公共交通の利用促進やマイカーの利用抑制などを進めている。また、交通空白地帯の解消および交通不便者の生活に必要な移動の確保などの課題解決に取り組んでいる。

本市では、高齢者や免許返納者の移動手段、公共交通空白地での買い物、通学対策など多くの課題があるため、それぞれの取り組みは、大いに参考となるものであった。

本会議・常任委員会を動画で配信しています。



視聴される際は、市議会ホームページの『石巻市議会LIVE中継(生中継)』をご覧ください。

(YouTubeを視聴する環境が必要となります。)

また、本紙面から、各議員の顔写真の下にあるQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、質問を動画(録画映像)で見ることができます。

(視聴にかかるデータ通信料金などの費用は、ご本人の負担となります。)

日	月	火	水	木	金	土
2/9	10	11 建国記念日	12	13 開会 施政方針演説 13:00	14	15
16	17	18	19	20	21 施政方針質疑 10:00	22
23 天皇誕生日	24 振替休日	25 施政方針質疑 10:00	26 条例案審議 10:00	27 予算案審議 10:00	28 追加審議 10:00	29
3/1	2 総務企画 10:00	3 環境教育 10:00	4 保健福祉 10:00	5 産業建設 10:00	6	7
8	9	10 一般質問 10:00	11 東日本大震災 追悼式	12 一般質問 10:00	13 一般質問 10:00	14
15	16 一般質問 10:00	17 一般質問 10:00 閉会	18	19	20	21

次回2・3月
定例会議(予定)

カレンダーの時間は、開会時間となっております。

※時間・日程は変更となる場合があります。

編集後記

令和二年 謹んで新年のお祝いを申し上げます。

東日本大震災から早くも9年を迎えようとしていますが、昨年の台風19号に見られる自然災害が頻発しています。

特に、下水道施設災害復旧・復興事業の整備については、今議会、多くの議員から厳しい指摘がありました。

全体事業費1,470億円で新設する11カ所の雨水排水ポンプ場や幹線管渠、区画整理事業地内の下水道施設などの整備行っていますが、事業整備進捗率は約53パーセントとなっております。令和2年度完成を目指しています。

市民の皆さんが安心して暮らせるまちづくりを行うために行政と議会が一体となって取り組んでまいります。

今年も、平成22年4月に制定された「石巻市議会基本条例」に基づき、市民参加と市民への情報発信、説明責任を果たす議会、積極的に政策提言する議会、二元代表制による、首長と独立・対等の立場で責任を果たす議会の3つの基本理念のもと、「市民と協働し、真の地方自治の時代を先導する議会」を目指し、努力してまいります。

広報広聴委員会 委員 後藤 兼位

表紙から



令和元年11月6日、桜坂高校の市役所プロジェクトの一環として模擬議会を開催しました。広報広聴委員会の奥山委員長と櫻田副委員長にどうして議員を目指したのかなど、さまざまな質問がありました。

DATA 市総人口：142,638人【男：69,305人 / 女：73,333人 / 世帯数：61,573世帯(令和元年12月30日現在)】